

出羽郡司は補せられし人よりて其後新
九郎と云りし人の朝日長者の子孫なりし
まや鴨川彼東方にあり西より見れば朝日
の如くすこ故に朝日を以て名とまじりまや郡
長なりゆへに長者といひしなりぬへし人
畜有のものをのこ長者とおもへし大なる
程なり長者といふ官途の長をいふ將軍家と
源氏の長者といふてその心を志しぬへし一
日光山縁記の文曰上皇時ハ孰の御宇あり
ありしん洛陽に一人の老族出たと云り

此名をいふ中ね成とそやけりなり能
並いなく容俊世は優めひしりそ帝の御
免世人の御冊イッキカシワをなかりし又そ親しなりし
りし然れいりなりあ世の君業よりよりん
中ね成大鷹野鴨を好めひて明るは只山
野よのこは心を入し偏ひてそ事となし禁
闕ふ立更ん事を慥くせさせめひしりそ
月あのを震臺花下の法持よりおくれめひ
りし海とに何ふ御門の法持より使しん
遂より勅部の所とめめひしりそ中ね成